

# 地域振興県土警察常任委員会資料

(平成28年12月15日)

- 1 北陸新幹線敦賀以西ルートを検討状況について  
【交通政策課】・・・1ページ
- 2 公立鳥取環境大学の地元進学者への経済的支援制度について  
【教育・学術振興課】・・・2ページ
- 3 スポーツ戦略会議の開催結果について  
【スポーツ課】・・・別冊

地域振興部

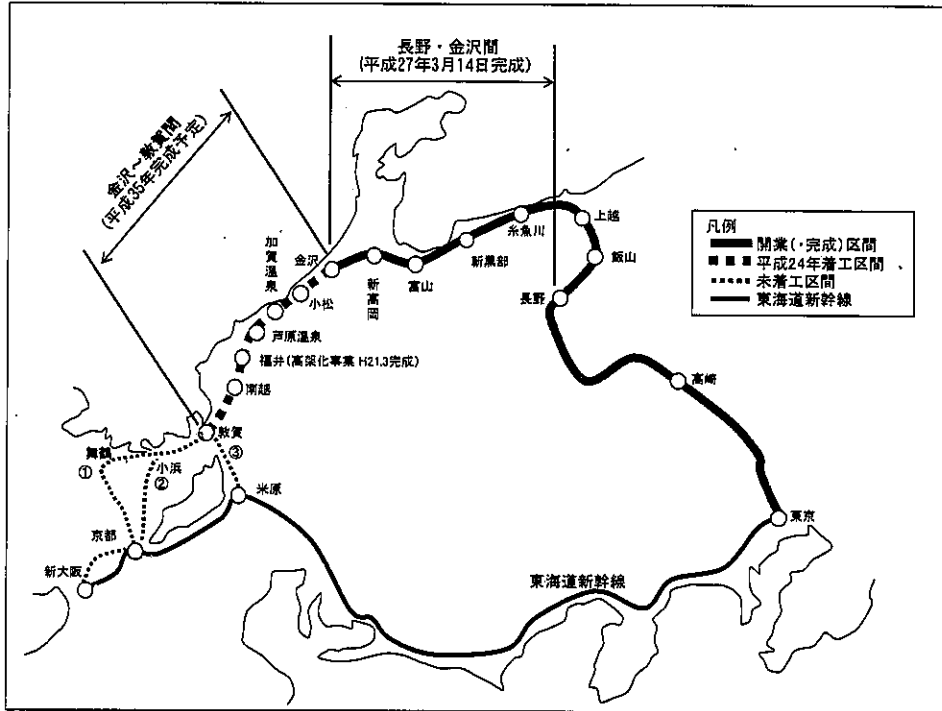


# 北陸新幹線敦賀以西ルートを検討状況について

平成 28 年 12 月 15 日  
交 通 政 策 課

11 月 11 日（金）に国土交通省が与党整備新幹線建設推進プロジェクトチームに報告した北陸新幹線敦賀以西ルートに係る調査結果は、以下のとおりです。

## 1 北陸新幹線敦賀～大阪延伸ルート案



## 2 国土交通省の試算結果

<試算結果> ※国土交通省報告資料から抜粋

検討ルート	①小浜舞鶴京都ルート	②小浜京都ルート	③米原ルート
建設延長	約 190 km	約 140 km	約 50 km
概算建設費	約 25,000 億円	約 20,700 億円	約 5,900 億円
工期	15 年	15 年	10 年
所要時間 (敦賀～新大阪間)	約 60 分	約 43 分	約 67 分 (乗り換え時間を含む)
運賃・料金 (敦賀～新大阪間)	6,460 円	5,380 円	6,560 円
費用対効果	0.7	1.1	2.2

<各ルート試算結果の主な特徴>

### ①小浜舞鶴京都ルート

概算建設費は最も高い。乗換えはないが、走行距離は最長。料金は 2 番目に高い。

### ②小浜京都ルート

概算建設費は 2 番目に高い。乗換えはなく、所要時間も最短。料金も最も安い。

### ③米原ルート

概算建設費は最も安い。建設距離は最も短いですが、米原で乗り換えが必要で所要時間は最長。料金は最も高い。

※ 東海道新幹線のダイヤが過密で乗り入れ困難なため、乗換えが必要。

## 3 今後の見込み

・12 月 20 日（火）に開催される与党整備新幹線建設推進プロジェクトチームで最終決定される予定。

# 公立鳥取環境大学の地元進学者への経済的支援制度について

平成28年12月15日  
教育・学術振興課

## 1 支援制度について

公立鳥取環境大学への地元進学を促進するため、県内出身学生に対して、「鳥取県内出身学生生活支援制度」を環境大学が創設する。(H29年度入学生から適用)

### (1) 支援制度(案)

区分	支給額(定額)	効果
下宿学生 (※)	月2万円 (月の下宿代(4万円程度) の1/2)	4年間の学生負担軽減額は96万円で、授業料1/2減免(学生負担軽減額106.8万円)と同程度の負担軽減効果がある。
自宅学生	月1万円 (車・バイク等の月の維持 経費(1万円程度))	4年間の学生負担軽減額は48万円で、授業料1/4減免(学生負担軽減額53.4万円)と同程度の負担軽減効果がある。

※鳥取市への住民票異動を下宿学生の支給条件とする。

### (2) 目標

県内出身入学者割合を20%にするよう、H28年度県内出身入学者数(41人)の1.5倍に当たる60人を目標に取り組み。(60人÷毎年度の入学者数約300人=20%)

最終的には25%を目標とする。(県内受験者数が比較的近い隣県の島根県立大学のH28年度県内出身入学者の割合(看護学部除く)23.7%を参考とする。)

### (3) 所要経費

県内出身者が目標の60人入学した場合(県内出身入学者割合が20%となった場合)、所要経費は1学年当たり約1,000万円。

### (4) 財源

H29年度は大学が自主財源で独自に実施し、H30年度以降の財源については、第2期中期目標を検討する中で、改めて整理する。

### (5) 今後の予定

大学がH29年度一般入試出願に向けて、次頁のチラシにより、速やかに県内高校等に当該支援制度を周知する。

## 2 支援制度創設事由

環境大学は、公立化以降、県内出身入学者割合が低下傾向にあり、H28年度は県内大学の中で最低の数値。また、県内出身入学者割合は中国5県公立大学の中でも最低。

⇒公立鳥取環境大学評価委員会(林由紀子委員長)が、H27年度公立鳥取環境大学業務実績評価書において、地元進学者への経済的支援等について検討するよう、提言があり、環境大学が設置者とも協議しながら、支援策を検討。

【入学者に占める県内出身者割合】

(単位：%)

年度	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
割合	52.5	47.5	51.8	47.1	54.9	60.4	60.5	62.4	56.6	66.4	43.5	23.6	21.7	12.0	18.9	14.1

※H28年度の他の県内大学の状況：鳥取大(15.9%)、看護大(71.1%)、鳥取短大(80.0%)

【中国5県公立大学の県内出身者割合(H28年度入試)】

(単位：%)

大学名	鳥取環境大	島根県立大	岡山県立大	県立広島大	山口県立大
割合	14.1	38.6	48.0	59.0	47.6

# 公立鳥取環境大学

# 「鳥取出身でよかった! 進学」

スタート

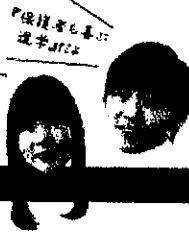
平成29年度入学生から最大105万4000円になる  
鳥取県内出身学生への支援制度を創設します。

鳥取県内出身の学生が本学に入学すると、「鳥取県内出身学生生活支援制度」と「鳥取県内出身者の入学金減免」の2つの支援制度が適用されます。

自宅外通学生では4年間で105万4000円

自宅通学生では4年間で57万4000円の支援が受けられます。

「大学と地域の  
絆を深める進学」  
について



## New!!

鳥取県内出身学生  
生活支援制度

給付金額 以下のいずれか

4年間で最大96万円

- ①鳥取市に住民票を有し、かつアパート等住居の賃貸借契約を結んでいる学生月額20,000円  
※貸し戻金と同様している場合は除く
- ②自宅から通学する学生 月額10,000円 **4年間で最大48万円**

鳥取県内出身学生の  
入学金減免

減免金額 94,000円

県外出身者 282,000円 → 県内出身者 188,000円

## 条件

次のいずれかを  
満たす者

- a) 入学前年の4月1日から引き続き鳥取県内に住所を有している者
- b) 入学前年の4月1日から配偶者または1親等の親族が引き続き鳥取県内に住所を有している者
- c) 理事長がa又はbに掲げる者と認める者

4年間の  
大学生生活に  
かかる費用

自宅通学	公立鳥取環境大学	3,864,800円
	国立大学(中四国)	4,438,800円
自宅外通学	公立鳥取環境大学	5,445,104円
	国立大学(中四国)	6,969,360円
	私立大学(1都3県)	10,321,709円

## 4年間の大学生生活にかかる費用

(単位:円)

		入学金	授業料・施設・設備費	住居費	その他生活費	支援制度	合計
自宅通学生	公立鳥取環境大学	188,000円 <small>94,000円減免</small>	2,143,200	0	2,013,600	480,000円給付	3,864,800
	国立大学(中四国)	282,000	2,143,200	0	2,013,600	0	4,438,800
自宅外通学生	公立鳥取環境大学	188,000円 <small>94,000円減免</small>	2,143,200	1,686,864	2,387,040	960,000円給付	5,445,104
	国立大学(中四国)	282,000	2,143,200	2,157,120	2,387,040	0	6,969,360
	私立大学(1都3県)	261,089	4,202,220	2,914,080	2,944,320	0	10,321,709

公立鳥取環境大学の住居費は2014年度調査による。公立鳥取環境大学(特別地域国立大学)は2016年度からの住居費。その他生活費は学生生活費(2014年度)の授業料・施設費を除いた費用。授業料・施設費は2014年度調査による。国立大学の入学金・授業料は同定規程参照。私立大学の入学金・授業料は同定規程参照。国立大学の入学金・授業料・施設費・設備費は文科省発表による2014年度調査の大学の平均。



公立鳥取環境大学

lotter.university-of-environmental-studies.jp

環境学部 環境学科  
経営学部 経営学科

〒680-0192 鳥取県鳥取市東山1-1-1  
TEL 0857-38-6720 E-mail: info@uenvs.jp

TEL 0857-38-6720

